

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り指針は作成してあるが、重度化や終末期に向けた体制が不十分である。	看取りケアができる体制を整える。	重度化した場合や終末期のあり方について、定期的にご家族の意向を伺う。 主治医や訪問看護ステーションと話し合い、看取りの体制整備を図る。	6ヶ月
2	35	緊急事態に対応する体制は整備されているが、緊急事態が発生した時を想定した研修を実施する必要がある。	事故発生や緊急事態に備えたマニュアルを基に、状況に応じた訓練や救命研修を実施し、緊急時に慌てず適切な対応ができるようにする。	消防署員によるAEDの取り扱いや心肺蘇生の研修を実施する。また、職員が入居者役になって、緊急事態が発生した時の動き方等の実践的な訓練を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。